



### 坂本冬美 コンサートで サプライズ!! 南谷秋枝さん

99歳になられる南谷秋枝さんと一緒に、坂本冬美コンサートに行きました。2月に足の手術をされてからも歩きたいと、少しずつ毎日歩いておられたので、車椅子席ではない一般席のチケットを取りました。コンサートに行くことが決まると、いつもより積極的に歩かれる秋枝さんでした。

当日の席は予想以上に大変な席でしたが、会場のスタッフの方と、歩かれていた秋枝さんの日々の努力のおかげで、無事に席に着くことができました。

コンサート終盤、冬美さんのトークのコーナーで、お客さんの年齢を質問されました。「今日のお客様は、幾つくらいの年齢の方がみえるのかしら？90歳以上の方、手を挙げて教えてください」秋枝さんは手を挙げられました。「あっ。90歳。そちらは96歳…」小柄な秋枝さんは、ステージからは見えにくかったようで、さらに両手を挙げて思い切り手を振られました。「お幾つですか？」と冬美さん「99歳です」と秋枝さん。「あらっいやだ。99歳?!行かなきゃ!!」冬美さんは着物姿でステージを飛び降りて、客席の階段を駆け上がって来られました。冬美さんは、秋枝さんの隣に来て「ありがとうございます」と握手して下さい、冬美さんの故郷の梅干しをプレゼントとして手渡し下さいました。最後には「お元気でいて下さいね」と抱きしめて下さいました。さらに、来年のカレンダーもプレゼントして下さい、サービス満点の冬美さんでした。コンサートの最後には冬美さんが「また会いましょう」と手を振られると、秋枝さんも手を大きく振られました。

秋枝さんにコンサートの感想を聞くと「長生きしているといいこともあるんだね」と話して下さいました。頂いた梅干しを一粒一粒大事に味わい、来年のカレンダーを早く壁に飾りたいと、毎日壁を眺めておられる秋枝さんです。

(石原香折)



### かんぽの宿にて ご家族と 米寿のお祝い 寺西美智代さん



寺西美智代さんは、娘さんご夫妻と、お二人のお嫁さんと一緒に、大好きなかんぽの宿に一泊して米寿のお祝いをされました。大好きな温泉に入り、夕食は皆さんと『秋のお祝い膳』を召し上がり、松茸や銀杏などの秋の味覚を楽しめました。好物のお刺身はペロッと召し上がり、さらにお酒が大好きな美智代さんは、夕食時にカクテルも1杯飲まれ、ほろ酔い気分でご家族との楽しい時間を過ごされました。プレゼントには、綺麗なフラワーアレンジメントをいただき、寝る前にはお嫁さんたちと、ハロウィン気分パックをして皆で記念撮影。

普段は物静かな美智代さんですが、ご家族との旅行でリラックスされたのか、お茶目な一面も見られました。大切な米寿の記念をご家族と一緒に過ごされて幸せな米寿のお祝いとなりました。

(向井千代子)



### 妹さんのブティックで 三姉妹勢揃い 森本貞子さん



9月に誕生日を迎えられ、10月15日に千種区の次女和子さんが経営されているブティックに挨拶に行かれた森本貞子さん。この日は三女の孝子さんも合流され、久しぶりに三姉妹が集まりました。お店に着くと、お二人の妹さんが出迎えて下さり「お姉さん久しぶり」と声を掛けて下さいました。同行されていた娘さんが、お店の服をお母さんにプレゼントされるということで、妹さんたちと一緒に洋服を選ばれ、貞子さんのファッションショーが始まりました。和子さんからは「私たちは仲が悪かったのよ」と今となっては笑い話の懐かしいエピソードをお聞きしました。娘さんは「体を悪くしてからは、もう二度と母が妹さんのところに行くことはできないと思っていたの」と大変喜んでおられました。

どんな時でも諦めることなく、お年寄りやご家族の気持ちを大切にしていきたいと思うお出掛けとなりました。

(徳山幸吉)



### 武光観光だより ～金沢一泊旅行～



10月の武光観光は、金沢へ一泊旅行に出掛けました。紅葉が色づいてきた九頭竜湖を窓越しに眺めながら福井周りでドライブ。一日目は、福井県立恐竜博物館で、迫力ある恐竜の骨格を見て回りました。宿泊先は、山代温泉の大江戸温泉物語山下家。旅館のご厚意でお部屋をランクアップしていただき、ワンフロア貸切!!個室が4部屋もある客室にいただいたおかげで、親子で参加された森本貞子さん、北野淑子さん親子は、それぞれに親子水入らずのお部屋で一晩一緒に過ごしていただくことができました。二日目は、今話題のひがし茶屋町で散策とお買い物。寺澤安一さんは、この日に蔵出しされたばかりという日本酒を試飲され、早速お土産にと購入されました。長時間の散策は大丈夫かな?と心配した今村ツイ子さんも、車椅子は全く使われず、散策も長距離でしたがご自分の足でしっかり歩かれ、金沢の町並みを楽しまれました。二日間とも大きく雨にも降られず、外に出なければ分からない発見もあり、改めて『旅はリハビリ』を感じさせていただいた一泊旅行となりました。

(佐久間恵美)

